

```

1 /*****
2 ****
3 /**
4 ***      コンペアマッチタイマCMT0～CMT3による周期割り込みの発生
5 ***
6 ***                      by: S. Suzuki
7 ****
8 ****
9 /* 注意 :  - PCLK=20MHzであること。
10 /*      :  - RX220の64ピンパッケージであること。
11
12 #include <machine.h>
13 #include "typedefine.h"
14 #include "iodefine.h"
15
16
17 #pragma section
18 #pragma bit_order right
19 ****
20 /*      コンペアマッチタイマ初期化 */
21 ****
22 /* 注意 : CMTのコンペアマッチ割り込みCMIはCMCNT=CMCOR (CMCORは0x0000になる) */
23 /*      : となつた次のクロックで発生するため、CMCORで指定したカウント値より */
24 /*      : 1カウント分多い時間になつてしまふ。従つて、CMCORには希望のカウント */
25 /*      : 値-1の値を設定する。 */
26 /* 注意 : コンペアマッチが発生するとカウンタCMCNTは0x0000になる。 */
27
28 #define CONST500U  (1250)      /* PCLK/8 (=2.5MHz) 時の500uS発生用コンスタント値 */
29 #define CONST01M  (2500)      /* PCLK/8 (=2.5MHz) 時の1mS発生用コンスタント値 */
30 #define CONST10M  (25000)     /* PCLK/8 (=2.5MHz) 時の10mS発生用コンスタント値 */
31 #define CONST50M  (7812)      /* PCLK/128 (=156.25KHz) 時の50mS発生用コンスタント値 */
32 #define CONST100M (15625)     /* PCLK/128 (=156.25KHz) 時の100mS発生用コンスタント値 */
33
34 void Init_PeriodTimer(void)
35 {
36     /* 動作モード、消費電力低減機能、ソフトウェアリセット関連レジスタへの書き込みを許可する */
37     SYSTEM.PRCR.WORD = 0xA502;
38     /* CMT0, CMT1のモジュールストップ解除 */
39     MSTP(CMT0) = 0;           /* SYSTEM.MSTPCRA.BIT.MSTPA15 = 0; (CMT0～CMT1共通) */
40     /* CMT2, CMT3のモジュールストップ解除 */
41     MSTP(CMT2) = 0;           /* SYSTEM.MSTPCRA.BIT.MSTPA14 = 0; (CMT2～CMT3共通) */
42     /* 動作モード、消費電力低減機能、ソフトウェアリセット関連レジスタへの書き込みを禁止する */
43     SYSTEM.PRCR.WORD = 0xA500;
44
45     /* コンペアマッチタイマCMT0, CMT1, CMT2, CMT3停止 */
46     CMT.CMSTRO.WORD = 0x0000;
47     CMT.CMSTR1.WORD = 0x0000;
48
49     /* コンペアマッチタイマCMT0初期化 */
50     CMT0.CMCR.WORD = 0x0040;  /* クロック選択(PCLK/8→2.5MHz) , コンペアマッチ割り込み (CMI0)
      を許可 */
51     CMT0.CMCNT = 0x0000;      /* コンペアマッチタイマカウンタクリア */
52     CMT0.CMCOR = CONST01M-1;  /* コンペアマッチタイマコンスタントレジスタセット(1mS) */
53     /* コンペアマッチタイマCMT1初期化 */
54     CMT1.CMCR.WORD = 0x0040;  /* クロック選択(PCLK/8→2.5MHz) , コンペアマッチ割り込み (CMI1)
      を許可 */
55     CMT1.CMCNT = 0x0000;      /* コンペアマッチタイマカウンタクリア */
56     CMT1.CMCOR = CONST10M-1;  /* コンペアマッチタイマコンスタントレジスタセット(10mS) */
57     /* コンペアマッチタイマCMT2初期化 */
58     CMT2.CMCR.WORD = 0x0042;  /* クロック選択(PCLK/128→156.25KHz) , コンペアマッチ割り込み (C
      MI2) を許可 */
59     CMT2.CMCNT = 0x0000;      /* コンペアマッチタイマカウンタクリア */
60     CMT2.CMCOR = CONST50M-1;  /* コンペアマッチタイマコンスタントレジスタセット(50mS) */
61     /* コンペアマッチタイマCMT3初期化 */
62     CMT3.CMCR.WORD = 0x0042;  /* クロック選択(PCLK/128→156.25KHz) , コンペアマッチ割り込み (C
      MI3) を許可 */
63     CMT3.CMCNT = CONST100M/3; /* コンペアマッチタイマカウンタセット (CMT2と同期しないよう初期
      値をずらす) */
64     CMT3.CMCOR = CONST100M-1; /* コンペアマッチタイマコンスタントレジスタセット(100mS) */
65
66     /* 割り込み優先順位セット */
67     IPR(CMT0, ) = 6;
68     IPR(CMT1, ) = 6;
69     IPR(CMT2, ) = 6;
70     IPR(CMT3, ) = 6;
71     /* 割り込み要求ステータスフラグクリア */
72     IR(CMT0, CMI0) = 0;
73     IR(CMT1, CMI1) = 0;

```

```

74     IR(CMT2, CMI2) = 0;
75     IR(CMT3, CMI3) = 0;
76     /* コンペアマッチ割り込み許可 */
77     IEN(CMTO, CMIO) = 1;
78     IEN(CMT1, CMI1) = 1;
79     IEN(CMT2, CMI2) = 1;
80     IEN(CMT3, CMI3) = 1;
81
82     /* コンペアマッチタイマCMT0, CMT1をスタート */
83     CMT.CMSTRO.WORD = 0x0003;
84     /* コンペアマッチタイマCMT2, CMT3をスタート */
85     CMT.CMSTR1.WORD = 0x0003;
86 }
87
88
89 /*****
90 /*          CMT0コンペアマッチ割り込み(CMIO)の処理          */
91 /*****
92 /* 1mS周期
93 /* ※CMInはエッジ検知割り込みのため、IRフラグは自動的にクリアされる。
94
95 #pragma interrupt (Int_CMTO_CMIO)
96 void Int_CMTO_CMIO(void)
97 {
98     /* ここに1mS周期で実行する処理を記述 */
99
100 }
101
102
103 /*****
104 /*          CMT1コンペアマッチ割り込み(CMI1)の処理          */
105 /*****
106 /* 10mS周期
107 /* ※CMInはエッジ検知割り込みのため、IRフラグは自動的にクリアされる。
108
109 #pragma interrupt (Int_CMT1_CMI1)
110 void Int_CMT1_CMI1(void)
111 {
112     /* ここに10mS周期で実行する処理を記述 */
113
114 }
115
116 /*****
117 /*          CMT2コンペアマッチ割り込み(CMI2)の処理          */
118 /*****
119 /* 50mS周期
120 /* ※CMInはエッジ検知割り込みのため、IRフラグは自動的にクリアされる。
121
122 #pragma interrupt (Int_CMT2_CMI2)
123 void Int_CMT2_CMI2(void)
124 {
125     /* ここに50mS周期で実行する処理を記述 */
126
127 }
128
129 /*****
130 /*          CMT3コンペアマッチ割り込み(CMI3)の処理          */
131 /*****
132 /* 100mS周期 → 分周して1秒周期を作成
133 /* ※CMInはエッジ検知割り込みのため、IRフラグは自動的にクリアされる。
134 static int st_nDivSecCnt;
135
136 #pragma interrupt (Int_CMT3_CMI3)
137 void Int_CMT3_CMI3(void)
138 {
139     /* ここに100mS周期で実行する処理を記述 */
140
141     st_nDivSecCnt++;
142     if(10 <= st_nDivSecCnt) {
143         st_nDivSecCnt = 0;
144         /* ここに1sec周期で実行する処理を記述 */
145
146     }
147 }
148
149 /* End of File */

```